



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2017年3月4日(土) 10時00分～ 15時00分	
場所	金ヶ崎公園	
参加者	エコウイング会員／6名(うち1名:午後のみ)	計／6名

● 午前

3月に入り、そこここに春の気配が感じられるようになりました。今日の金ヶ崎公園は、柔らかな春の日差しに恵まれて、絶好の活動日和でした。

今日は、午前中は5名の参加者でいつものとおり公園内のコースを巡って市民自然図鑑の昆虫観察をしました。季節は春めいてきたのですが、まだまだ気温が低かったため、昆虫はほとんど姿を見せませんでした。

代わりに、居残りの冬鳥などの野鳥を色々と観察することができました。

● 午後

午後は、メンバーがひとり増えて6名で、まず公園内の水路の途中にある池の泥をさらえる作業に取り組みました。ふもとの北浦池の改修のため、水の流れが止められていて池の水が少なくなり、水棲生物が生き残れるように水たまりを確保するためです。

そのあと、散策路の階段を改修する作業に取り組みました。腐って劣化した階段の横木を交換したり、固定する杭を打ち込んだりしました。午後は気温も少し上がって10℃を超え、作業をしていると汗ばむほどでした。最後に参加メンバー全員で集合写真を撮って今日の活動を終わりました。

- 次回の活動は、4月1日(土)の予定です。公園内の桜の花も見ごろになっていると思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その2)



池の泥さらえ作業



遊歩道補修作業(その1)



遊歩道補修作業(その2)



活動後の集合写真



● 公園内のナラ枯れ病対策

昨年の夏、金ヶ崎公園でナラ枯れ病が発生し、コナラやアベマキの大木数本が被害にあって枯れました。このため、原因となる「カシノナガキクイムシ」を防除するため、市の緑化公園課が公園内の木々に粘着シート(カシナガホイホイ)を設置しています。白黒のチェック模様のシートで、まるで現代アートではないかと思われる光景です。

ナラ枯れ対策実施状況(その1)



ナラ枯れ対策の実施状況(その2)



表示ポスター



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園は気温が低かったため、昆虫はほとんど観察できませんでした。野鳥では、アオジやルリビタキ、シロハラ、ツグミなどの冬鳥がまだ居残っていて、姿を見せてくれました。そのほかに、常連のコゲラやホオジロ、モズ、ヤマガラ、ヒヨドリなどが観察できました。また、エナガが巣作りの材料のコケを集めている姿も確認しました。いたずら者のハシブトガラスが野球応援の人の荷物からお菓子の袋を盗んで飛び去る姿も観察しました。ふもとの北浦池は、改修工事のため水抜きされて水量が減っていましたが、カワウやカイツブリが確認されました。

梅の花とアオジ



ルリビタキ(メス)



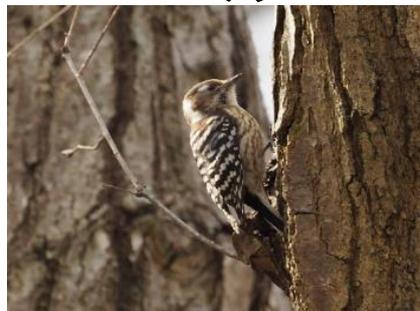
シロハラ



ツグミ



コゲラ



ホオジロ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

モズ(オス)



モズ(メス)



ヤマガラ



ヒヨドリ



カワラヒワ



ハシブトガラス



カワウ



巣材のコケを集めるエナガ



カイツブリ

